



# 「ITを使って誰もが快適に暮らせる社会の実現を」

画面読み上げソフトなど、コンピューターの活用を支援するソフト開発を行うIT企業、株式会社スカイフィッシュ。同社代表取締役の大塚雅永さんに経営理念をうかがいました。

## 2

005年に大塚雅永社長が設立した株式会社スカイフィッシュは、合成音声を活用したアプリケーション開発を行っているITベンチャー企業です。視覚障がい者のパソコン操作を支援する「フォーカストーク（FocusTalk）」や、パソコン上の文字や電子ファイルを合成音声ナレーションに変換する「ジュークドックス3（JukeDox3）」など、法人向けや個人向けのウィンドウズパソコン

少数精鋭で新しい技術に取り組む



7月に発売されたばかりの新製品「リアル・ナレーターズ3」

用パッケージを世に送り出し、高い評価を得ています。大塚社長は「創業して最初に商品化したのが、視覚障がい者支援のための読み上げソフトでした」と話します。創業から現在まで、同社の製品はほぼ全てが、読み上げなどアクセシビリティの向上に寄与するものであり、それだけに企業活動だけでなく社会貢献の意味でも評価されてきています。社員は大塚社長も含め4人ですが、社会のニーズに対応した製品開発で、大手企業との取引が数多くあります。

「経営理念は創業時に決めました。ITを使って誰もが快適に暮らせる社会の実現を目指す会社にしていきたいと考えています」

合成音声による読み上げソフトの利点は、視覚

### 経営理念

- ◎ 誰にとっても公平にITの恩恵が受けられる情報化基盤作りに貢献します。
- ◎ 栃木発全国区の企業を目指し、地元IT産業の基盤拡大に寄与します。地元技術者の雇用推進を目指します。
- ◎ 働く人の幸せが社会の幸せに繋がるよう、事業の成功と社会貢献を連動させます。

障がい者だけでなく健常者にとっても大きいと、大塚社長は話します。「7月に発売した『リアルナレーターズ3（RealNarrators3）』は、誰でも簡単に音声付きのスライドショーを、多言語で作成できるものです。翻訳は、AI機能による自動翻訳です。またスライドショー内に動画を埋め込んだり、その動画にナレーションをかぶせることができるため、作業マニュアルや商品説明、学校教材、デジタルサイネージなどさまざまな活用が可能になっています。これらの機能を実現する技術は、同社がこれまでの製品開発の中で培ってきたものです。また、マイクロソフト社のウィンドウズの機能も活用しているため、マイクロソフト社から信頼されてパートナーシップを築いています。これは製品開発の効率化や技術力アップ、パッケージの信頼性

などに大きく寄与しています。2年がかりで開発された、今回のリアルナレーターズ3。大塚社長は「前のバージョンを開発してから現在までの、ユーザーからのフィードバックを生かしています。3では、日本語をリアルタイムに翻訳し、外国語音声のナレーションに変換した動画出力ができます。その動画はフリー配布ができます。そのほか、たとえば本社で制作したのち、各地の営業所へ送って活用することもできます」と話します。

今後は、もつと本格的にAI技術を導入した製品開発を行いたい——と話す大塚社長。合成音声による読み上げ技術をキーとして、誰でも公平にIT技術の恩恵を受けられる製品開発に取り組んでいます。

### Information

株式会社スカイフィッシュ  
代表取締役 大塚 雅永  
創業／2005年9月  
所在地／宇都宮市御幸ヶ原町185-7  
☎ 050-3535-0940  
https://www.skyfish.co.jp

株式会社スカイフィッシュ  
代表取締役 大塚 雅永さん

